

技とパフォーマンスで魅了

「第5回北秋田市たかのす太鼓まつり」が9月2日、綴子・太鼓の館野外ステージで開かれ、大勢の太鼓ファンらが迫力ある演奏とパフォーマンスを楽しみました。

イベントは、市観光協会や綴子上町・下町太鼓保存会など各太鼓団体が組織する「北秋田市たかのす太鼓祭り実行委員会」が主催。今年は市内から8団体が出演しました。

この日は、午後になってから小雨がぱらついたため、開演時間を少し繰り上げて開演。開会式に先立ち、プログラム最初の綴子下町太鼓保存会がトップを切って登場し、太鼓2張りの演奏とステージせましと舞う3匹の獅子踊りで、会場を楽しませました。



中高生主体の阿仁吉田かざはり太鼓



綴子上・下太鼓保存会が4張りの太鼓を合同演奏

開会式では、織山盛一実行委員長が、「この日のために各団体とも練習を重ねてきたぜひ最後まで楽しんで」などとあいさつ。

この後、鷹巣婦人団体連絡協議会を母体とする「ふるさと子ども太鼓」、阿仁吉田地区にある史跡「風張城址」に因み、演奏曲も武士の生き様や戦いの激しさを表現する「阿仁吉田かざはり太鼓」、会場の見物客も参加できた、ストレス解消などに効果があるといわれる新しい太鼓の形式「ドラムサークル」などが出演し、会場と一体となって太鼓を楽しみました。

この後も、綴子太鼓保存会、鷹巣ばやし普及会、婦団連たかのすふるさと太鼓などが次々に登場し、力強い演奏と華麗なパフォーマンスを披露、観衆は初秋の一日を太鼓尽くして楽しみました。

技術訓練の成果を競う

「奥羽日本訓練チャンピオン決定競技会」

日本警察犬協会秋田県支部主催の「奥羽日本訓練チャンピオン大会」が9月2日、北欧の杜公園で開催され、県内外から151匹の犬とパートナーが訓練の成果を競い合いました。

競技は、警察犬訓練施設などの訓練資格を持つプロと、一般愛犬家のアマに分かれ、パートナーの指示に従い障害物越えや指示された物を拾う「服従」、特定の人物の匂いを嗅ぎ分ける「選別」「追求」「襲撃」「警戒」などを組み合わせた21種目が行われました。

秋田県警では、年に1回警察犬を決める審査会が開催され、合格した犬は囃託警察犬として、犯罪者や行方不明者の捜索などに活躍しています。



パートナーの指示に従い指定した物を拾う警察犬

山岳縦走コースを清掃

米内沢高校 清掃登山

米内沢高校（校長・石田孝雄）の第43回全校森吉清掃登山が8月31日に行われ、生徒・職員・保護者ら約150人が参加し、国体縦走競技コースなどの清掃に汗を流しました。清掃登山に先立って行われた開会式では校長が「昭和40年から始まって今年で43回目を数える。あいにくの雨で頂上へは行かないが秋田わか杉国体のコースがあるので、是非体験してほしい」とあいさつ。

その後、出発した生徒達は各々のペースで登山し、一部国体コースを通じて目的地に着し、清掃活動を行いました。

雨の中ではありましたが、森吉山の保全と美化に努めました。



雨の中、清掃場所まで登山する米高生

美しい北秋田を国体でPR

不法投棄一掃大作戦

国体で北秋田市を訪れる方を美しい自然、きれいな街で歓迎しようと、北秋田地域不法投棄一掃地域協議会が、8月30日にクリーンアップを実施しました。

この日は、行政関係者のほか、県産業廃棄物協会東北支部、住民ボランティアなど40人が参加して、阿仁前田地区、七日市地区、阿仁伏影地区の3カ所に不法投棄された家電機器やタイヤの回収作業に汗を流しました。

阿仁伏影地区の休耕畑では、回収されたタイヤが75本を数えるなど、悪質ぶりに参加者からは、驚きの声が上がっていました。

自然豊かな美しい北秋田市を守るため、「不法投棄根絶」の認識を新たにしました。



不法投棄されたタイヤなどを積み込む参加者

初秋の森吉山を力走

森吉山ローリースキー大会

第8回北秋田市長杯森吉山ローリースキー大会が8月26日、市道荒瀬川線で行われ、小学生から高校生まで95名が参加し、夏場の練習の成果を競いました。

競技は、フリー走法で、小学4～6年男女（各2キロ）、中学男子5キロ、中学女子3キロ、高校男子10キロ、高校女子5キロの10種目で行なわれました。

各種目とも森吉山阿仁スキー場へ向かう上りが続く厳しいコース。夏場の練習で日焼けした選手たちは、その成果を試す大会とあって、厳しい表情を見せながらも、沿道からの声援を受け、懸命に力走していました。冬本番へ選手たちの挑戦は始まっています。



沿道の声援を受けながら力走する選手たち